

「簡易的な呼気力測定法の検討」について
研究協力をお願い

【研究目的】

誤嚥性肺炎や COPD などの呼吸器疾患において、自力での喀痰の喀出ができることは再発や急性増悪を予防する上で重要である。咳嗽力の評価に関してはスパイロメーターやピークフローメーターを使用し、Cough peak flow を測定することが一般的となっている。しかし、スパイロメーターは医療機関に直接行く必要があり簡単に使用することができず、ピークフローメーターは持ち運びがしやすいものの、異なる患者間での連続使用は感染管理の面では問題があると思われる。

そこで今回、呼気到達距離が簡便な指標として有効であるかどうかを検討することとした。

【対象】

一般の成人（当院職員）で本研究への参加に対して同意を得たもの

【方法】

呼気到達距離とカフピークフローに優位な相関があるかを分析する。

呼気到達距離はライターの火を吹き消せる距離を計測する。

カフピークフローはピークフローメーターを使用して測定する。

【研究期間】

令和 5 年 5 月～6 月

【個人情報について】

対象を特定されないよう、名前は公表せず番号で管理する。日付に関しても表記しない。

本研究にしてご質問および対象となる方で研究への利用を拒否される場合は、お手数ですが平日の 9 時から 17 時の間に下記の研究代表者まで、ご連絡頂きますようお願い申し上げます。

【研究代表者】

リハビリテーション部 理学療法士 森下誠也

【代表者連絡先】

電話番号：0887-38-7111